

1. 効率的で質の高いサービス提供体制の確立

資料1

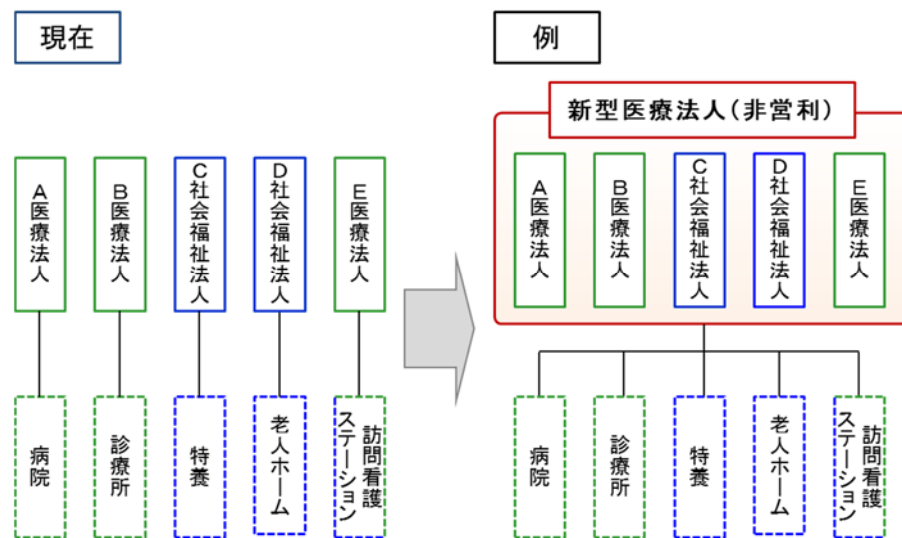
(第2回分科会
配布資料3(抄))

(検討の視点)

急速な高齢化に伴う疾病構造の変化等を踏まえた今後のあるべき医療介護提供体制の姿として、「病院・施設完結型」から、「地域完結型」への転換が必要であり、そのため、地域内の医療・介護サービス提供者の機能分化や連携の推進等に資する制度が求められている。更に、医療イノベーションや医療の国際展開を進めていくためには、アメリカにおけるIHN (Integrated Healthcare Network) のように国際的に通用する規模・質を持った医療機関の存在が求められる。

① 「非営利ホールディングカンパニー」型医療法人制度の検討

- 医療法人間及び医療介護サービス提供主体間の連携や再編を円滑に進めるため、「非営利ホールディングカンパニー」型の医療法人制度の創設を検討。



(論点)

- ・ 社員等の要件
- ・ 社員総会等の意思決定の在り方
- ・ 出資規制等の見直し
- ・ 剰余金の分配 等

② 医療法人の合併規制等の見直し

- 会社法の会社分割と同様のスキームの検討
- 社団医療法人と財団医療法人との合併方策の検討

③ 医療法人の附帯業務の拡充

- 医療法人所有の遊休スペース等を高齢者向け住宅の用途等に使用することを目的とした賃貸事業を附帯業務に追加

④ 自治体病院等の公設・公的病院の医療品質情報の更なる開示

⑤ 社会医療法人の認可要件の緩和

⑥ 社会福祉法人の透明化

⑦ 病床機能分化の推進

- 診療報酬体系と医療計画等との整合性の確保
- 急性期病院における資源の重点化とそれに向けたインセンティブ付けの方策
- 施設改修費用、耐震化費用等、医療機関の資金ニーズを充足するためのツールとしてのヘルスケアリートの活用方策

⑧ 介護サービスの品質改善